

*** 今日の健康 (10月) ***

＜ 2022年秋冬コロナワクチン接種重要ポイント＞

1. オミクロン株対応コロナワクチンとインフルエンザワクチン

オミクロン株対応コロナワクチンは、インフルエンザワクチンとの同時接種が可能で、接種タイミングに制約はありません。インフルエンザワクチン以外のワクチンの場合は、オミクロン株対応コロナワクチンと同時に接種できず、互いに片方のワクチンを受けてから2週間以上の間隔をあけて接種することとなります。

2. ファイザー社のオミクロン株対応2価ワクチンについて

ワクチンの特長

本剤はメッセンジャーRNA (mRNA) ワクチンです。SARS-CoV-2のスパイクタンパク質 (ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質) の設計図となる mRNA を脂質の膜に包んだ製剤になります。本剤を接種し、mRNA がヒトの細胞内に取り込まれると、この mRNA を基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2 による感染症の予防ができると考えられています。

接種対象者

3回目接種以降で、1・2回目の接種を終えた12歳以上の方

接種方法

通常は、三角筋 (上腕の筋肉) に、1回0.3mLを、筋肉注射という方法で接種します。

接種回数と接種間隔

- ・オミクロン株対応コロナワクチンは追加接種としての位置付けで、本ワクチンは1・2回目の接種には使えません。本ワクチンの追加接種は1回に限られます。
- ・前回の接種完了から5か月以上経過した方から、接種を受けられます (令和4年9月14日時点)。接種間隔を3ヶ月経過への短縮については検討中で、10月下旬までに結論を得る予定です。
- ・前回までの接種に用いたワクチンの種類にかかわらず、本ワクチンの接種が可能です。
- ・本ワクチンの接種対象に該当する方であれば、お手持ちの3回目または4回目接種用の接種券を使用して接種出来ます。

有効性について

新型コロナウイルス感染症の重症化等の予防を目的として接種します。

ワクチンを受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。新型コロナワクチン接種後の中和抗体価と発症予防効果との相関性が報告されており、オミクロン株によるコロナ感染症の疾患に対して従来型の1価ワクチン (従来株) の効果が報告されていることから、オミクロン株に対して高い免疫応答が確認されている本剤2価ワクチンの追加接種により、一定の発症及び重症化を予防する効果が期待されています。

3. 見て頂きたいホームページ

厚生労働省：オミクロン株対応コロナワクチンQ&A

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/bivalent/>

NHK：副反応情報など

<https://www.nhk.or.jp/shutoken/newsup/20220921c.html>

武蔵野市：新型コロナワクチン オミクロン株対応2価ワクチン接種について

http://www.city.musashino.lg.jp/stopcovid19/kenko_hoken/1031272/1039901/index.html

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861

天文台通り もみじ山公園バス停裏